

立命館大学・龍谷大学・京都産業大学 開設記念シンポジウム

大学で法を学ぶ意義について、様々な分野で活躍する卒業生・修了生からお話いただき、会場とのディスカッションを通じて考えます

大学で法を学ぶ意義

【日 時】

2016年4月30日(土) 13:30～16:30

【会 場】

京都産業大学 むすびわざ館 2Fホール

□ 第1部

基調講演1 企業法務の魅力と法学教育 大幸薬品 森田慈心氏

基調講演2 採用者の視点から オムロン株式会社 玉置 秀司氏

□ 第2部 パネルトーク

企業、行政、福祉の各分野で活躍する各大学の修了生と第1部のパネリストとで、大学で法を学ぶ意義、今の仕事にどのように活きているか、など実際のところを語っていただきます。韓国の法科大学院関係者から韓国の法曹養成制度の状況についてもご紹介いただく予定です。

司会 京都産業大学 草鹿 晋一

【お問い合わせ】

京都産業大学 法務研究科事務室

☎ 075-705-1564

📠 075-705-2959

✉ law-school-jim@star.kyoto-su.ac.jp



《共催》
立命館大学法科大学院
龍谷大学法科大学院
京都産業大学法科大学院

【むすびわざ館 アクセスマップ】

